

言語資源小委員会における主な審議事項及び当面の予定（案）

I 主な審議事項

＜言語・言語資源について＞

- 言語(言葉)は、人間が思考し、他者と意思疎通を図る上で不可欠なもの。また言語は、アイデンティティに関わり、文化芸術の基盤を成し、生きる力の土台となるものであり、歴史と伝統の中で培われてきたもの。

これまでの歴史の中で用いられてきた言語の在り方を振り返ることで、それぞれの時代における言語の変遷や往時の諸相を捕捉することが可能となる。こうしたことから、我が国の言語資源を保存し、通覧・分析可能な状態にしておくことは、言語研究や言語政策、言語教育等の分野のみならず社会的に意義深いもの。

言語や言語資源について、上記のように考えられないか。

- 上述の意義に照らして、言語資源を「未来へ伝える文化遺産」(仮称)と位置付けた上で、言語資源の果たす役割と今後に向けた在り方を検討してはどうか。具体的には、我が国全体(産学官民)で多様な言語コーパスを言語資源として構築し、活用していく土壌を整えていくことを視野に入れて、以下のような観点から検討を行うこととしてはどうか。

＜検討の観点について＞

- 言語の果たす機能やその本質をどのように考えるか。その上で、言語資源をいかに位置付け、その保存・活用の在り方をどのように考えていくか。
- 日本語のコーパスに関する整備状況を確認し、その活用の在り方について、我が国の社会経済情勢や教育研究活動等を踏まえ、どのように考えるか。
 - ・言語研究や言語政策、言語教育、そして大規模言語モデルとの関係での整備・活用の在り方
- 日本語に関する既存の言語資源の整備状況を踏まえ、今後における望ましい言語資源の在り方について、どのように考えるか。
 - ・言語資源の果たす役割を踏まえ、社会課題の解決等に資するような専門的・分野特化型コーパス等の在り方(例:教育的ニーズ、文化的ニーズ、大規模言語モデル開発からのニーズ等に即した在り方)

Ⅱ 当面の予定 ※日程等は状況によって変更する場合もある。

日程	言語資源小委員会	文化審議会・国語分科会、ほか
令和6年 6月		国語分科会【6/3(月)】
7月	1 言語資源小委員会(第1回)【7/11(木) 15～17】 ① 主査・副主査の選出 ② 言語資源小委員会の会議の公開 ③ 「日本語のデジタル言語資源の整備に関する国語分科会の見解」(令和5年9月29日 分科審議会国語分科会)の確認 ④ 有識者による事例等紹介 等	
8月	2 言語資源小委員会(第2回)【8/1(木) 15～17】 ① 有識者による事例等紹介 等	
9月	3 言語資源小委員会(第3回)【9/26(木) 10～12】 ① 有識者による事例等紹介 等	